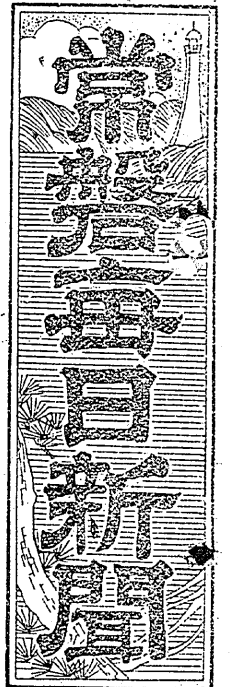


刊夕日三十月二十



定價一冊五錢 月刊五元 半年二十五元 全年五十元
 廣告刊五號十二字第一行五錢 五號以上者
 日曜 祭日 休刊
 發行所 常警日新新聞社
 印刷所 常警日新印刷株式會社

陣中想出話 (三)

平町出身
 步兵第九聯隊 水野重光
 第三中隊

裝甲列車轉覆

吉敷線警備交代打合せの爲め黄泥河に出張した淺井少尉の一行四名は九月十九日無事打合せを終了、し午後四時發裝甲列車にて蚊河に向つた、黄色に枯れた草原を眞直に西に向つて走つて居る約五里の間隔をおいて野砲兵第二聯隊の將士を乗せた單用列車が黄泥河驛を出發したのであつた、足下から飛立つ山鳥に興じつゝものゝ三十分も行つた頃、二九三の橋梁哨右手の山に見えた列車に汽笛を鳴らし機關士は赤旗の打振るのを見て徐行し間も無く橋梁近くに停車した、前方無

潮聲硯靜帖

(三)

糧運ぶ椎の下道に露を叫す
 栗一俵柿一樽も陽の秋を
 紅葉謝湖心に寒風颯々
 酒斷ちて菊に親しむ此年ぞ
 寺々のせまきかまへや秋の風
 榎寺の榎の高さや赤とんぼ
 くらき灯や釜十が秋の句短冊
 たゞずめば岩床冷ゆる秋の風
 静八丁紅葉かざして下り舟
 山羊鳴いて人を慕ふや秋の暮
 山羊ふふと吾を見て鳴く小春かな

蘭 外
 雨 山
 和 三 郎
 中 納 言

蓋貨車にゐた私はぼんやりと其の方を眺めて居た、「ドシンガラ〜ドシン」といふささまじい轟音と共に私の乗つて居た車も三四米前進した、ぼんやりして居た私は尻餅をついて後に倒れた「運轉手何を冗談して居るんだい」と悪口をいひ

ノット

清汁を拵へる時は汁に味を附けない前に身を濡らしますと、汁が濁ります。味も悪くなります。

ながらひよつと後を見たすると驚いた事には七糶半の加農を戴せた砲車は美事仰向けにひっくり返つて居るのではないか、私と同行

二明日の献立

【朝】青昆布のつくだ煮
 【晝】まぐろ ひらめのさしみ
 【晚】むきみ 玉ねぎのわん

共に右の凸道の下に轉り落ちたのだ、其の時砲車中にゐた者は彈藥箱と一緒にからりと轉がされたのでたまるものぢやない、佐原の小銃の如きは銃把の所からほつくり折れて居た。人間の怪我の無かつた事は不幸中の幸へだつた。大騒ぎして居る中に日は西山に没し六時頃になつてしまつたので、裝甲列車のみ二道

河に行つて泊る事になつた 今日泊つてもどつとす。

共濟病院案内

院長 醫學博士 石山謙
 小兒科 醫學博士 石山謙
 外科 醫學博士 佐久間
 喉科 醫學博士 桂馬重
 皮膚科 醫學士 有馬二重
 産婦人科 醫學士 五十嵐雄
 X光線科 醫學博士 佐久間
 衛生試驗所 技師 石山謙
 藥局 技師 高石山
 診療時刻 午前八時より午後五時迄
 但急患は此の限りに非ず
 平町 磐城共濟會
 電話 六四一番

玉屋洋品店
 平町田町通電話五六六番

専門
 産婦人科
 花柳病科
 井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

外科 X線科
 性病科
 外科
 安齊外科醫院
 平町田町
 電話 四七五番

イヤ！君！
 いゝ冬服を求めたね
 斷然三二年型だよ
 いやコレカネ！
 例の……ソレ！
 正札堂さ
 六三四電通場車停目丁四町平

産名城磐
 魚問屋
 貨切の……
 御用命は！
 獅子吼(四四九)ノ勢デ
 マツサキ
 眞先ニ……(マツサキ)
 三九二タクシーへ!!!
 店理代平命生本日大最優最
 榮 盛 賀 志
 番三一電 目丁四平

萬里の長城の觀ある

鮫川江筋改修工事

古川縣議等の献身的努力

酬ひられて來春早々起工

總工費卅七萬圓

郡南植田方部多年の懸案であつた鮫川疏水の復活計畫も前縣議古川傳一氏等の献身的努力が酬ひられて總工費三十七萬圓を投じ五ヶ年繼續の縣營工事として本年度から起工する事に決定したので地元方部の喜びは非常なものであるが鮫川江筋組合では來る廿三日頃平町團体事務所臨時總會を召集、地元負擔計金十三萬九千圓の起債方法を附議する事になり同時に一月中には盛大な起工式を舉行すべく各般の準備を進めてゐる

植田の速成胡瓜

頗る好成绩で組合員激增

石城郡植田町農會では今夏中速成胡瓜の栽培及び共同出荷を行つて非常な好成绩を占めたので組合員が一躍六十餘名に増加し今夏百框にあつたものが現在四百框に達し廿ヶ所の育苗所では此程播種を終了したのでいづ

特別教授

進學の準備

磐城高等女學校にては本日

最後のゴールを

目指して躍進

歳末行進曲の伴奏でゴツタ返す平町街頭

一枚／＼剥とられたカレンダも餘すところたつた十八枚……商街も、花街も、銀行も、會社も、それから

お役所も 狂的な喧噪と慌しい 歳末行進曲の伴奏で一九三二年最後のゴールを目指し

平窪、好問が

聯合品評會

石城郡平窪、好問兩村農會では來る十七、八、九の三日間平窪小學校に聯合農産品評會を催すが尙平窪公民學校にても同期間中小學兒童の農作展覽會を開會すべく準備中である

東郷文部次官

平町の歓迎會

午前十時より開會された縣主催の國民更正指導者講演會に講師として來平された文部省政務次官東郷實博士の歓迎の爲め青沼町長、橋本塾中校長、小田部平署長其他の有志が發起となり本日午後四時より住吉屋本店に於いて歓迎晩餐會を催すと

補助は

いらぬか

桑園改植奨励

縣では石城郡下養蠶實行組合に對し桑園改植補助額として十七万七千九百圓を割當てあるが前記補助申請を蠶業

平町街頭はスツカリ師走気分になり込められて特有の活氣に隅から隅までゴツタ返してゐる

向鉢巻

番頭さん達が一際張り上げる客呼びの聲、眞赤な大旗小旗の波が揺れて商街書入れの歳末大賣出しは今絶頂だ、注連縄や松飾り風や羽

女兒の性能検査

職業戦線に起つ門出に

平第二小學校にては來年四月高等科を卒業する百十一名の生徒中職業婦人として打つて出やうとの希望者が九名あるのて來る十四、十五の兩日平職業紹介所に於て性能検査を行ふ事になつたが此等九名の職業志望別は看護婦、女店員、奉公人各一名、結髪業二名、交換手四名である

受験準備

平第二校で

父兄打合せ

平第二小學校にては本日午後二時半より警女入學志願兒童父兄懇談會を開き十數回に亘り調査を行つた學力成績表を示して入學の確否を決定した上左の如く入學準備を行ふ事に打合せを行つたが受験兒童は尋常科七十六名、高等科二十六名計百二名にて昨年より八名少ないと

事務員

や配達員のエキストラを備ひ込んで年賀郵便の取扱開始に待機準備も既に成つた、清酒樽ビール箱密柑國が山を築いてゐる平驛貨物ホームの盛況……観一九三二年のゴールはもう目の前だ……

常科第二學年以上に對し第一二學期校內學力調査を開始

したが期間は三日間で算術、讀方、雜問の順序で行ふと

平町人事

△學校としての方法 毎日放課後約三十分宛復習せしむる事 △家庭に於ける方法

毎夜一時間乃至二時間宛 自習を行はしむる來

咽喉鼻 専門科

平町田町七〇番地 山内醫院 醫學士山内享吉 電話六九一

毎度御ひいさ

有難う御座います

江戸前都壽し始めました。

是非御試食を願います…… 出前迅速…… 大蒲焼 折壽司 田町魚 榮

電話四二四番

市原醫院

平町田町(電話二一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎 外科一般、婦人科 市原陸郎 外科、梅毒、淋病 市原三三男 入院隨時

自力を以て

食糧を需め得ずと

けふ平町から政府米申請

既報平町役場では市價より一圓五十錢安の政府拂下米を五百俵買入れる事となつたので本日左の如き理由書を添へ縣を通じて政府に申請した

去る十四、十五兩日に亘る風水害に依り農家は秋收直前に於て稲束を流失し其被害甚大にして而も悲惨を極むるものあり町に於いても對策を請しつ

幾分早目に

けふ平町の初雪

赤井おろしに混つて……

盛んに吹き散らす

今絶頂の師走氣分に包まれてゐる平町地方に今十三日早朝から凄じい唸り聲を上げて吹き捲る赤井風が混つて紛の様な白雪がチラー／＼舞ひ降ちて午前十時頃には北國の吹雪にも似た降雪振りを見せたが平町地方の初雪としては例年より幾分早目らしい

「昨年は暮中降雪なく今年二月に入つてから珍らしい大雪があつた、温度は去る十日の零下三度五分が最低で昨年の最低十二月十四日の四度四分に比して一度の高温平均し

感違ひ

傷害は

罰金三十圓

石城郡内郷村大字御座字上宿日雇業荒川淺次郎(四七)が去る七日午前九時頃妻ヨシが同村下野居住東海林五郎と怪しい仲と思ひ違ひスコップを以て五郎の頭部を強打して重傷を負はせた傷害罪は罰金三十圓に日本平區裁判所に於て略式命令を以

怪しい男

酌婦と逃ぐ

平町南町飲食店龜屋事高橋トヨ方酌婦茨城縣大子町生れ石井ヨシイ(三三)は去月初旬前借二百四十餘圓で住込んだが昨十二日午後四時頃同店の叔父と稱する男と共に前借を踏んで逃走した

暮と女給祭

トグロを巻く クインの一群

エログロ振りや

世界館の舞臺に延長

今夏第一回の女給祭で味をしめた平町西洋料理組合ではまたぞろ

第二回の 女給祭を計畫、来る廿七、八の兩日前回同様世界館で催すこととなつて着々準備を急いでゐるが市内三十餘のカフェーに天晴れクイン氣取つてトグロを巻いてゐる美醜賢愚

正月用の仕入品を

轉んで壊した替償

逃げた自動車を捕へてと

平署にど鳴り込む

石城郡川前村字桶賣雜貨商山田庄藏(三三)は昨十二日午後四時頃商用の爲め三丁目地内を通行中前方より來たトラックを避けんとして轉

明日のフタオ

十四日

西の風晴れ

今晚の部

後六、〇〇 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ

後七、三〇 時局講座「世界の痛はどうなるか」津

今晚も明日も北

西の風晴れ

明日の部

前一、〇三〇 家庭講座「記憶すべき榮養上の重要な新事項」佐伯矩

後〇、〇五 吹奏樂「三曲」大阪ブラスバンド

後二、〇〇 家庭大學講座「青年の心理」青木誠四郎

平裁判たより

既報秋田縣平辰郡睦合村大字谷地新出字沼田八十番地生れ目下住居不定前科八犯佐藤惣吉(三三)が現金八拾圓在中の手提げ金庫を窃取逃走の際阿部巡査を全槍で

芝居の衣裳類を

馬の脚が持逃げ

それも他からの借受物

數日前まで平町聚樂館で開演中の浪花節劇一行の座員松本政雄(三三)は同劇團が舞臺用として平町新田町藝妓置屋茶家から借り受けた衣裳中十餘点を窃取して逃走行方を晦ましたので平署で目下捜査中

出品新米

共同販賣

既報植田、山田兩町村農會聯合米品評會は九日より十二日迄植田市場にて催されたが出品新米の共同販賣を十二日に行つた結果出品俵數九十六俵のうち四等一俵九圓、五等八圓八十錢等外八圓五十五錢を以つて勿來町鈴木商店に落札された

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

後五、三〇 常識講座「圓が何故下落したか」森廣藤

後六、〇〇 (子供の時間)少年映畫劇「少年忠臣蔵」澤村宗之助外忠臣蔵花曆十四

後七、三〇 歌澤「假名手本三都花文字」歌澤寅松

後八、〇〇 放送舞臺劇「清水一角」澤村納子一座

後九、〇〇 講談「義士の討入」一龍齋貞山

平職業紹介所報告

求人を求める方

△コック見習 十八才以下 尋卒 給料面談(平町某)

△幼年工 十八才迄 尋卒 通勤日給五十錢位(平町某工場)

△塗師手傳 二三人 委細 面談(平町某工場)

△出前持 二十才以下 委細 面談(平町某カフェー)

△回職を求める方

△機械工 十五才 高卒 給料面談(平町某)

△雑夫 十八才 尋卒 給料面談(湯本町某)

△女中 二十才 高卒 給料面談(平町某)

△豆腐賣子 五十八才 讀書し得 給料面談(新潟縣某)

△女事務員 二十才 高女 卒 給料面談(双葉郡某)

繁藏の死を欺く

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百廿三席 平手造酒

繁藏の死を欺く

大久保といふ處の魚賣りの萬藏が朝の買出しに笹川の魚市場をさして蛇山迄來ると一頭の白犬が萬藏の前にてウーと唸つてゐる、ソレを見た萬藏

萬「なんだ、オヤ、あれは神代の宇右衛門さんの所にある白だぞ、なんだつてこんな所にあるんだ、ヤイ白」

と云ひながら側へ寄つたが犬は悲しさに泣いてゐる

萬「白どうしてこんな所へ來る、さかりが付いたで牝犬を追つかけて來たか、何うした」

と云ひながらそばに近付いて見ると驚いた、篋から人の足が出てゐる、それにその傍に天保錢を繫いだ網襦袢が落ちてゐる

萬「これは不思議だ、妙な、ヤイ白なんでこんな所へ來てゐる、ウーンこの足は人間だ、どうした事か」

と篋の中を覗くと血に染まつて倒れてゐる笹川の繁藏、イヤ驚いた萬藏盤臺をそれへ置き天秤棒を小脇に抱へ込み一に駈けて來る繁藏の住ま居、前にも

通り土家と云ふ家號で旅籠をしてゐる、朝のことで子分が外で顔を洗つてゐたそこへ飛込んで來た萬藏

萬「大變、親分が死んだ」
○「なんだと親分が死んだと」
萬「死んだ死んだ、その先は蛇山だ、殺されて居た、血だ」
○「濟し崩しに云ふな、判る様にしつかり話せ」
萬「殺されて居たア」
○「何に、殺されて居たとそれは成程大變だ」
と奥へ駈け込む、折しも此處に居たは夏目の新助、五郷内の忠藏、それに庭に木剣を振つてゐた平手造酒



○「ヤイ萬藏、何をそんなだ危ねえ、そんな物を振り廻して」

萬「大變だ、親分……篋の中から足を昇いて飛出した、前には犬がゐて其れがワン、だ」
○「こいつは少し變だ、どうして親分が足を昇いてゐる」

萬「それは神代の宇右衛門さんの所に居る白犬でございませう、何でほえるかと竹篋の中を見ると親分が死んで居ました」
造「ウン其れは一大事だな、ア其處へ案内しろ、俺に續け」
と云ひすて萬藏を先に走らせ蛇山の竹やぶに來て見ると繁藏は脇腹を刺され左の肩に傷を受け額から耳にかけて斬られ全く絶命してゐる、造酒は暫く死骸を見詰て居たが

造「残念な事をした、男の中の男と云はれた繁藏がこんな最期を遂げるとは……イヤ嘆くは愚痴だ、一同之を見ろ」
新助に忠藏其他の子分がこの死骸にすがり
一同「親分嘸口惜い事でごんせう、屹度敵は取りませ、あ、惜い事をしたモシ親分……」
造「コレ、泣くな泣くな涙は佛の供養にならぬぞ、此上は怨みを晴らして成佛させるが何よりの功德就てはこの死骸を持つて行かざばなるまい、サア擔いで行け」

此の變事を聞くと店に駈け出し
造「コレ萬藏」
萬「イヤ平手先生、えらい事が出來ました、わしは今朝買出しに行かうと蛇山まで來ますと」
造「ウン竹篋の前に犬が居てほえた」と

新「むき出しで持つて行く譯にはいきません、オイ萬藏向ふの百姓家へ持つて戸板を一枚貰つて行い」
萬「ハア貰つて來ます」
と駈けて行つたが戸板を持つて來た、この上へ載せて死骸を笹川へ持つて行く宇右衛門の手飼の犬はこの死骸に付いて笹川まで一緒に來た、繁藏の女房は夢で

はないかと驚いた、そこへ知らせに依つて富五郎其の他の子分が馳せ付けて來たが今は歎くも詮なき事と、此事を訴へ出て檢視を受け菩提寺に埋葬した。然しこれは假葬で追つて本葬をいたすと諸方の俠客に知らした、大分親分衆から香奠を贈り又主立つた子分が親分の代理として來た、此の時に神崎の友五郎が

友「こんな事があらうと思ひ今の内に繩張りを譲り隠居したが好からうと俺が意見をしたが、それを用ひぬ爲にこんな死に方をした、然し今更こんな事を云ふも愚痴だ、まア、跡を懸に弔ひ繩張りを減らさぬやうにしる」
と若い者たちに注意しました

平新川町十九
産婦人科 木村病院
電話一六四番
院長 木村寅次郎
婦人科 内木宗八
産科 醫學士 内木宗八
整形外科
泌尿科

上田外科醫院
平町 南町
電話一二九番

一般物質 類券債種各
店質井三
岸川目丁四町平電
番六〇六話

りん病
こしけ 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥
阿康藥舖
全國知名新聞「こんなヨイクスリを未だ知らな
雑誌 推獎」の方がありませんか
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし
慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服
するも絶對胃腸傷害なき各藥であります
尙ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は
殘藥引換に全部異議なく返金します
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢
性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈、此の新聞各記入申込者に
付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三銭手数料金納の事。
藥價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
特約 平町古鍛冶町一〇
手販賣 阿康藥舖
縣社ノ下(電話四四番)

漆器も需要季に入り俄然暴騰致しました
絶好無二の御買時
在庫品見越買附品豐富
平素御引立ヲ衷心ヨリ感謝
大奉仕精神ヲ徹底シシムベク
在任庫品全部ノ一奉仕が
お正月の御用意お屠蘇具が
専門漆器平町に只一軒
ドコロモ、ヨイシナラ
ドコロモ、ヤスシワル、メリモノミセ
共榮漆器店
各國産漆器専門卸小賣
(平町三丁目36元郵便局裏通)
店員募集 二十才迄...小外員優遇す
三十才迄...小外員優遇す